

CHORUS、Blackboard

1. 概要

CHORUS、Blackboard ともに利用者数は増加し、全体では 155 名、21.1%の増加となった。全体としては CHORUS の利用者が上回るものの、今期は Blackboard の利用者の伸びが大きく、ヘルプデスクにも多く問い合わせが寄せられた。また、専任教員の Blackboard 利用者が 39 人増とこれまでより増えたのに対し、CHORUS は 10 人増であったことから、専任教員の CHORUS から Blackboard へのシフトが伺える。

機能別利用状況および問い合わせ件数をみると、CHORUS はほぼ昨年どおりである。一方、Blackboard は「Turnitin」、「メール・メッセージ」といった CHORUS にはない機能が上位を占めていて、今期 Blackboard の利用者が増えた一因とも考えられる。

学部別にみると、CHORUS、Blackboard ともに、在籍者の数が多い全カリおよび文学部が人数としてはトップ、次いで経済学部、理学部と続く。社会学部は CHORUS、Blackboard ともに利用率が高い。CHORUS の利用率が高く、Blackboard の利用率が低いのは、異文化コミュニケーション学部と法学部である。どちらも利用していて問い合わせが多いのは経営学部と理学部である。

2. 利用状況（2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日）

(1). Blackboard

全体での利用者数は 517 名で、前年度より 90 名、3.7%増の 22.3%となった。特に専任教員の利用が 39 名増えて、専任全体の 37.3%を占めるに至った。前期と後期に分けてみると、後期に利用が 177 名伸びて、前期の 152%であった。

問合せ内容としては、「Turnitin」、やメール送信に関するものが多かった。特に前年度から導入した Turnitin は、前期（14 件）から後期（29 件）にかけて問合せ数が倍増した。ネットから簡単に資料を検索できる時代にあつて、剽窃のチェックは大きな関心事といえよう。なお、前年度に続き、今年度も Turnitin 単体で使いたいという問い合わせも多く見受けられた。

また、受講者にメール送信できる機能の問い合わせも多かった。こちらの機能は Blackboard にあつて CHORUS にはないもので、CHORUS 利用者からもよく質問を受ける。Blackboard 利用者が増えてきたのは、こういった機能を使えることが大きいのもかもしれない。

Blackboard は授業以外の利用もできることから、経営学部ではゼミ選考のツールとして利用された。教務の担当者にコンテンツ作成の方法をレクチャーし、こちらでは 51 コースの作成及び 16,699 名の受講生の登録と、Blackboard 上の設定を代行した。

また、オンデマンド授業では前期 3 講座、後期 4 講座のコース作成を行った。更に、2015 年度に向けて WebClass12 講座のコース作成を行った。

Blackboard		教員数(人)	利用者(人)	利用率
2013 通年	専任	571	186	32.6%
	兼任	1722	241	14.0%
	全教員数	2293	427	18.6%
2014 通年	専任	603	225	37.3%
	兼任	1714	292	17.0%
	全教員数	2317	517	22.3%
年間増加率	専任	+32	+39	+4.7%
	兼任	-8	+51	+3.0%
	全教員数	+24	+90	+3.7%

表 1 : Blackboard 利用状況前年度比較

Blackboard		教員数(人)	利用者(人)	利用率
2014 前期	専任	592	167	28.2%
	兼任	1250	173	13.8%
	全教員数	1842	340	18.5%
2014 通年	専任	603	225	37.3%
	兼任	1714	292	17.0%
	全教員数	2317	517	22.3%
後期増加率	専任	+11	+58	+9.1%
	兼任	+464	+119	+3.2%
	全教員数	+475	+177	+3.9%

表 2 : Blackboard 利用状況 (2014 年度)

※黄色セルは 10 件以上

	機能	2014 年前期	2014 年後期	増減数
1 位	Turnitin	14(3 位)	29	+15
2 位	コンテンツ(課題)	3(8 位)	22	+19
3 位	メール・メッセージ	17(1 位)	19	+2
4 位	コンテンツ(テスト)	5(6 位)	14	+9
4 位	オンデマンド授業	3(8 位)	14	+11
6 位	出席管理	17(1 位)	12	-5
7 位	ユーザー登録	8(5 位)	11	+3
8 位	コンテンツ(教材)	9(4 位)	4	-5

9位	成績管理	4(7位)	3	-1
10位	コンテンツ管理	3(8位)	0	-3
合計		83	128	+45

表3：Blackboard 機能別問合せ件数（2014年度）

※黄色セルは10件以上

	機能	2013年通年	2014年通年	増減数
1位	Turnitin	12(4位)	43	+31
2位	メール・メッセージ	21(1位)	36	+15
3位	出席管理	20(2位)	29	+9
4位	コンテンツ(課題)	9(6位)	25	+16
5位	コンテンツ(テスト)	0(9位)	19	+19
5位	ユーザー登録	20(2位)	19	-1
7位	オンデマンド授業	0(9位)	17	+17
8位	コンテンツ(教材)	12(4位)	13	+1
9位	成績管理	6(8位)	7	+1
10位	コンテンツ管理	9(6位)	3	-6
合計		109	211	+102

表4：Blackboard 機能別問合せ件数前年度比較

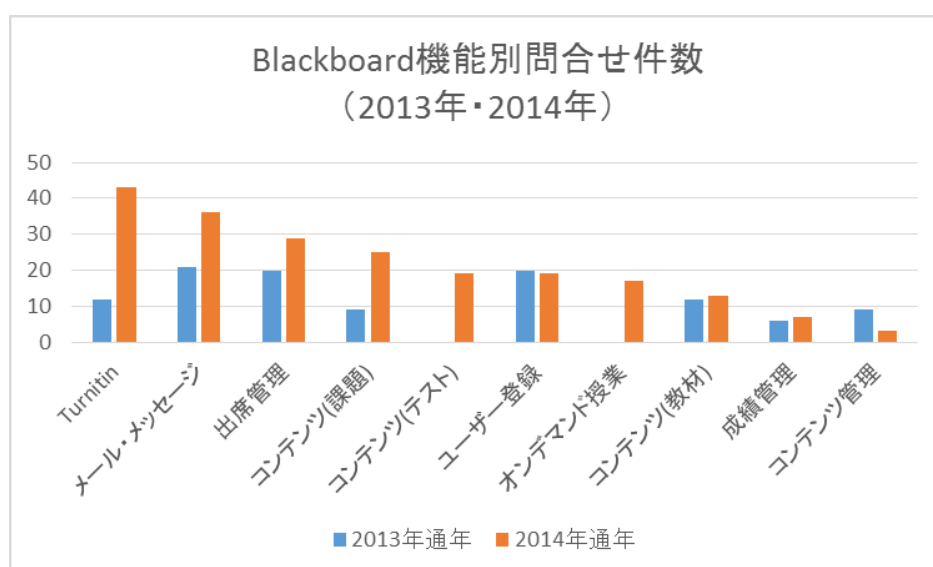


図1：Blackboard 機能別問合せ件数前年度比較

(2). CHORUS

CHORUS の利用者数は 912 名で前年度より 65 名、約 7.7%の増加であった。後期末での教員全体の利用率は前年の 38.9%より 2.9%増の 41.8%だった。利用は「教材」、「お知らせ」、「出席管理」、「レポート」が多かった。

利用者が操作になれたためか、後期の問合せ数（84 件）は前期のほぼ半数（154 件）となった。SA・TA のコースへの登録方法や、教材のアップロード方法についての問合せは、年間を通じて多かった。

CHORUS		教員数(人)	利用者(人)	利用率
2013 通年	専任	560	336	60.0%
	兼任	1617	511	31.6%
	全教員数	2177	847	38.9%
2014 通年	専任	595	346	58.2%
	兼任	1590	566	35.6%
	全教員数	2185	912	41.7%
年間増加率	専任	+35	+10	-1.8%
	兼任	-27	+55	+4.0%
	全教員数	+8	+65	+2.8%

表 5 : CHORUS 利用状況前年度比較

CHORUS		教員数(人)	利用者(人)	利用率
2014 前期	専任	581	293	50.4%
	兼任	1159	344	29.7%
	全教員数	1740	637	36.6%
2014 通年	専任	595	346	58.2%
	兼任	1590	566	35.6%
	全教員数	2185	912	41.7%
後期増加率	専任	+14	+53	+7.7%
	兼任	+431	+222	+5.9%
	全教員数	+445	+275	+5.1%

表 6 : CHORUS 利用状況 (2014 年度)

	機能	2014 年前期	2014 年後期	増減数
1 位	受講・編集者一覧	22(3 位)	21	-1
2 位	教材	28(2 位)	18	-10
3 位	レポート	35(1 位)	10	-25
4 位	登録関連	18(4 位)	8	-10
4 位	アンケート	7(7 位)	8	+1
6 位	出席管理	12(6 位)	5	-7
7 位	テスト	7(7 位)	4	-3
7 位	ログイン	18(4 位)	4	-14
9 位	アクセス権限	1(10 位)	3	+2
10 位	ディスカッション	1(10 位)	2	+1
11 位	過去年度関連	5(9 位)	1	-4
12 位	講義内容	0(12 位)	0	0
合計		154	84	-70

表 7 : CHORUS 機能別問合せ件数 (2014 年度)

	機能	2013 年通年	2014 年通年	増減数
1 位	教材	57(1 位)	46	-11
2 位	レポート	56(2 位)	45	-11
3 位	受講・編集者一覧	33(3 位)	43	+10
4 位	登録関連	11(7 位)	26	+15
5 位	ログイン	28(4 位)	22	-6
6 位	出席管理	12(6 位)	17	+5
7 位	アンケート	6(9 位)	15	+9
8 位	テスト	13(5 位)	11	-2
9 位	過去年度関連	6(9 位)	6	0
10 位	アクセス権限	0(11 位)	4	+4
11 位	ディスカッション	0(11 位)	3	+3
12 位	講義内容	7(8 位)	0	-7
合計		229	238	+9

表 8 : CHORUS 機能別問合せ件数前年度比較

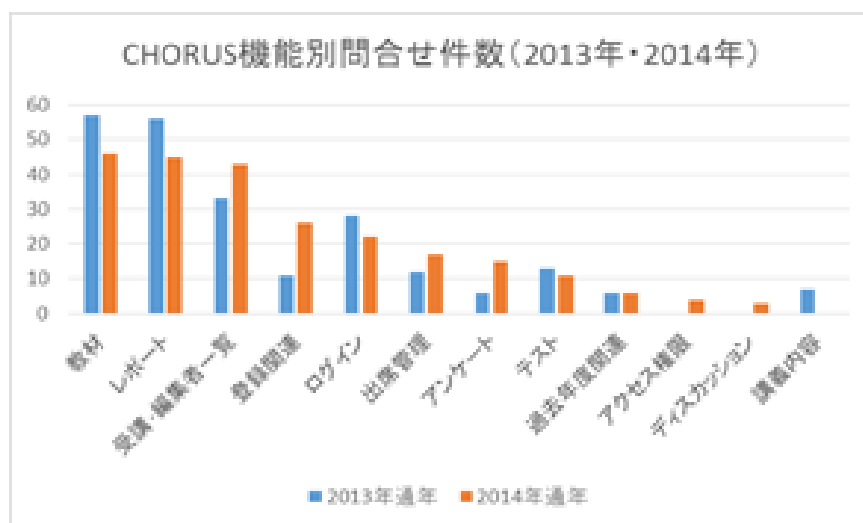


図 2 : CHORUS 機能別問い合わせ件数前年度比較

順位	CHORUS 機能	2014 前期(人)	後期増加人数	2014 通年(人)	利用率
1 位	教材	427	174	601	65.8%
2 位	お知らせ	256	109	365	39.9%
3 位	出席管理	176	87	263	28.8%
4 位	レポート	175	68	243	26.6%
5 位	受講・編集者一覧	106	70	176	19.3%
6 位	講義概要	105	44	149	16.3%
7 位	講義内容	81	27	108	11.8%
8 位	デザイン	68	28	96	10.5%
9 位	アンケート	26	12	38	4.2%
10 位	関連リンク	31	4	35	3.8%
11 位	テスト	10	5	15	1.6%

表 9 : CHORUS 機能別利用状況

3. 問い合わせ数

(1). 学部別利用率および問い合わせ数

利用者人数は CHORUS、Blackboard とともに母数の多い文学部が多くなっているが、利用率で比べると、Blackboard は経済学部や経営学部の利用者が多く、30%を超えている。全体的に見ても昨年度より利用率が向上しており、現代心理学部以外の学部では、いずれも利用率が 20%を超えている。CHORUS は理学部、法学部、異文化コミュニケーション学部、社会学部の 4 学部で利用率が 50%を超えており、最も利用率が低い観光学部でも 28.7%の利用率があった。

学部	Blackboard				CHORUS				
	全学部 人数 (人)	Bb 利用 者数 (人)	Bb 利用 率 (%)	問合せ 件数 (件)	全学 部人 数 (人)	CH 利用 者数 (人)	CH 利用 率 (%)	問合せ 件数 (件)	
文学部	329	86	26.1%	12	322	126	39.1%	22	
経済学部	152	51	33.6%	6	148	66	44.6%	6	
理学部	177	45	25.4%	15	120	71	59.2%	15	
社会学部	184	46	25.0%	6	177	98	55.4%	13	
法学部	101	21	20.8%	8	98	57	58.2%	4	
観光学部	114	29	25.4%	3	108	31	28.7%	6	
コミュニティ福祉学部	143	46	32.2%	5	138	56	40.6%	4	
経営学部	110	37	33.6%	20	106	50	47.2%	13	
現代心理学部	114	19	16.7%	2	109	38	34.9%	4	
異文化コミュニケーション学部	74	16	21.6%	7	73	42	57.5%	5	
全学共通カリキュラム	548	91	16.6%	29	521	192	36.9%	21	
学部講座	78	16	20.5%	4	78	28	35.9%	2	
その他	ビジネスデザイン研究科	193	3	1.6%	6 不明 21	187	18	9.6%	8 不明 37
	21世紀社会デザイン研究科		3	1.6%			7	3.7%	
	異文化コミュニケーション研究科		2	1.0%			10	5.3%	
	社会情報教育研究センター		4	2.1%			4	2.1%	
	法務研究科		1	0.5%			16	8.6%	
	グローバル教育センター		1	0.5%			1	0.5%	
	赤レンガ講座		0	0.0%			1	0.5%	
合計	2317	517	22.3%	144	2185	912	41.7%	160	

表 10：学部別利用者数・問合せ数

Blackboard

CHORUS

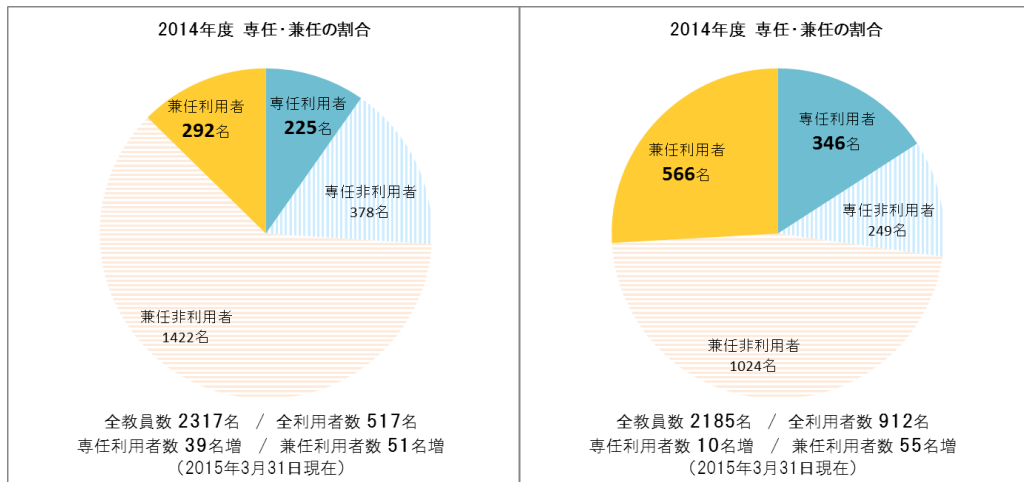


図 3 : 利用者割合

(2). CHORUS、Blackboard 問合せ方法

いずれの問合せ方法でも、Blackboard は前期より後期の問合せが多く、逆に CHORUS は前期の方が多かった。

	2013 年		2014 年	
	Blackboard	CHORUS	Blackboard	CHORUS
電話	66	154	148	174
メール	35	43	40	38
対面	44	74	47	62
合計	145	271	235	274

表 11 : 問合せ手段別受付件数

4. トピックス

(1). Blackboard

- ① コース統合機能や Turnitin 公式の利用を、希望する教員に対して案内を開始した（周知は後日予定）。
- ② Webclass で行っていた 12 講義について、Blackboard 上での運営に移行し、名称を「E-learning」に変更した。
- ③ メディアサイトの連携設定が実施され、Blackboard コース上でメディアサイト動画の登録・閲覧が可能となった。
しかし、教員権限を有するユーザーがすべてのメディアサイト動画をコース登録可能な仕様であるため、運用方法が確定するまでの間、メディアサイトのリンクを Blackboard コース上より非表示としている。
- ④ 学生から成績に関する不服申し立てのメールが、Blackboard を通じて送られてきたとの問合せに起因し、「E メール送信」ツールの説明部分に「成績に関する問合せ」の案内文「要項を確認する」を挿入した。
- ⑤ 夏に April2014 にアップデート予定だったが、アシストマイクロ社より同ソフトに不具合があるためアップデート中止を勧められ、累積パッチ (CP5) の適用に変更した。3 月 24 日に実施され、同タイミングにゲストアクセス関連の設定も実施、教員がコース毎にゲストアクセスを許可するとコース登録者以外のユーザーもコースへのアクセスが可能となった。

(2). CHORUS

- ① 問い合わせの多い機能に絞り、初心者を対象としたマニュアルを作り直した。
- ② 2015 年度より変更された大学の学期名称へ合わせるため、学期名称変更を実施した。これまでの「春学期 A/B、秋学期 A/B」から「春学期 1/2、秋学期 1/2」となった。